



札幌市 株式会社マルニ北海道フーズ 『刺身商材、冷凍ホタテ貝柱を、香港等へ』

【主な品目】

刺身商材、冷凍ホタテ貝柱等

【主な輸出先国・地域】

香港、タイ、韓国、米国等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆当社では主に寿司ネタ用の刺身商材を生産・輸出しており、魚種はホッケ、ソウハチガレイ、ヒラメ等を初めとして北海道で水揚げされる魚を取り扱っている。
- ◆世界的な日本食ブームの影で、すし職人不足が深刻化しており、それを解決するために輸出向け商品の開発を始めた。解凍するだけで誰でも簡単にすし職人の味を出せる熟成シリーズを中心に製造を行っている。
- ◆海外企業との商談の中で衛生認証の重要性を再認識し、FSSC22000等国際認証を順次取得。

【輸出実績】（令和2年より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和4年度	38,400	120	通年
令和3年度	25,900	118	
令和2年度	7,600	28	



衛生管理が行き届いた工場内

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 輸出に係る事業展開を見据え、商品パッケージのデザインにこだわったり、物流コストを考え工場を設立したりするなど、工夫を凝らしている。
- 諸外国へ農林水産物・食品を輸出する際には、HACCPに基づく衛生管理に沿った生産が必須である。当社では、諸外国の取引先からFSSC22000を取得するよう要望があったことから、刺身商材及び冷凍ホタテ貝柱でFSSC22000を取得した。また、輸出先国を限定すると輸入規制が強化された際のリスクが高いため、その点でも世界中で通用するFSSC22000を取得するのが良いと考えた。
- 当社の製品が輸出先現地でどのような需要があるか・どのように食されているか等、取引先商社と協力しながら常時把握することで、現地ニーズに訴求した製品の生産・開発を行っている。



タイの展示会にて

【今後の課題・展望】

- 今後、EUHACCPと対米HACCPの取得に向けて、取組を進めていく。
- 機械導入等で生産力を向上させることで、さらに輸出を伸ばしていく。

【活用した支援・施策】

令和3年度食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業

【ウェブサイト】<https://marunifoods.com/>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 永澤 辰、取締役副社長 永澤 貴代美 TEL:011-886-6363